

11月の公共建築月間の記念イベントとして平成24年11月16日に、中部地方整備局及び中部4県、3政令市等で構成する「公共建築の日」及び「公共建築月間」中部地方実行委員会の主催による講演会を「巨大地震・津波の教訓を我が地域へ活かそう ～官公庁施設における地震・津波対策～」をテーマに開催しました。

名古屋大学減災連携研究センター長の福和伸夫教授、第四管区海上保安本部の清水総務部長、近畿地方整備局の島崎宮繕部長からご講演いただくと共に、四国地方整備局、三重県、愛知県、静岡県各施設整備担当部局の方を招いたパネルディスカッションを行い、大震災が発生した時の地震及び津波に対する官公庁施設の備えについて議論しました。

参加者は、国の関係機関や地方公共団体をはじめ、設計事務所、大学、建築業社等で、満席となる約160名のご参加をいただきました。アンケートの結果からも、福和先生の熱のこもったご講演のほか、好評の声をいただきました。

基調講演



「巨大地震・津波に備えて何をすべきか」来るべき東海・東南海・南海地震について、東日本大震災と比較しながら説明いただき、震災に対する備えの必要性、緊急性を講演していただきました。

名古屋大学 福和教授



「東日本大震災における東北地方整備局 宮繕部の対応について」被災庁舎の点検や復旧のための予算要求、工事発注といった震災当時の宮繕部の対応状況について講演していただきました。

近畿地方整備局 島崎部長
(前 東北地方整備局宮繕部長)



「東日本大震災における宮城海上保安部の対応について」自身の被災時の避難状況をはじめ、海上保安部の人命救助等の活動について講演していただきました。

第四管区海上保安本部 清水部長
(前 宮城海上保安部次長)

パネルディスカッション



会場風景(参加者約160名)



パネルディスカッションの様子

■パネラー

- 中部地方整備局宮繕部 長谷川整備課長
- 四国地方整備局宮繕部 今枝整備課長
- 三重県県土整備部 古川宮繕課長
- 愛知県建設部建築担当 若月公共建築課長
- 静岡県経営管理部財務局宮繕企画課 稲葉技監

■コーディネーター

- 中部地方整備局宮繕部 那花宮繕調査官

巨大地震・津波に対する官公庁施設の備えについて、今現在の検討状況をはじめ、具体的な設計手法や対策工事などを、スライドを交えて議論しました。